

ふれあい

No.14

編集発行 上越市立春日小学校

「休校の経験から気付くこと」

静まり返った校舎・教室、空いている机・・・主役である子どもたちがいない学校は、本当に寂しいです。「子どもたちがいない時間」、職員は休校あけの教育活動の検討、消毒作業、家庭学習の取組状況の確認等々に取り組みましたが、その表情はやっぱりどこか寂しそうに見えました。

今回、タブレット端末・電話連絡・宅配を併用して、子どもたち（ご家庭）とのコミュニケーションを図ることができました。タブレット端末は、使った分だけ様々な課題が見えてきますが、改善を図りながらより効果的に活用できるようにしていきます。ご家庭での子どもたちへの声かけや操作の支援等々今後ともよろしくお願いいたします。

<休校中の子どもたちのコメント>

「皆さん今日一日お疲れ様でした。皆さんの言葉で、不安な気持ちが少し軽くなりました。体調管理はしっかりとしていきましょう!またクラスの皆で笑い合える日を楽しみにしています!それでは明日も元気にクラスルームで会いましょう!」

「誰が感染してもおかしくない中、先生方がしっかりと消毒してくれるおかげで、安心して学校に行けます。でも気を抜くのではなく、しっかり予防するのが大切ですね!先生もみんなも本当にお疲れ様でした!」

「今回の休校で、コロナがすごい身近にあることを実感しました。これからはもっと気をつけていかないといけないですね。でも、みんなが元気でほっとしました!明日会えるのを楽しみにしています!」

*6年生のクラスルームより、児童の許諾を得て、掲載

子どもたちの様子が少しでも分かればと思い、ネット上に作られた「Classroom(上越市で採用したGoogle社の教育サービスの一つです)」を見るようにしました。その中で、見つけたのが上記のコメントです。厳しい現状を理解しながら前向きに生活しようとする意欲や、仲間や担任への思いを素直に綴ったものが他にもたくさんありました。特に、卒業&進学を目の前にしている6年生の言葉の数々には心打たれました。



現在、「交流の制限」が感染症対策のポイントです。他学年、他学級との交流場面は、かなり減っています。そうした中で、「早く友だちと遊びたい」「久しぶりにみんなに会えてうれしい」といった子どもたちの声は、学校が人と人がかかわりあいながら成長していく大切な場所であることを改めて教えてくれました。

「『6年生を送る会』をどう盛り上げるか?!」、5年生はアイデアを絞り出しています。年度末の他の教育活動もどんどん様変わりしていきそうです。3月の授業日は17日です。子どもたちには、「今、この時」を大切にして、仲間とふれあえる時間を存分に楽しみ、充実したものにしてほしいと思います。

[校長 星野 浩一]

3学年 よつば

総合的な学習活動テーマ：ふるさと春日山のすてき発見



上教大の五百川先生から、春日山の植物について学ぶ！



上教大の中村先生から、春日山の鳥や動物について学ぶ！



地域の山崎先生と一緒に、愛宕谷のザリガニ釣り！



謙信が修行をした林泉寺訪問



山城の特徴、仕組み探し



自然の宝物を使って造形遊び



生き物・植物・歴史・山城のグループに分かれて、春日山とたっぷり触れ合いました。



4年生 きずな学年

～のびやか活動「わたしの春日山」～



松葉かきや義の土一袋運動を一生懸命に行ってきました。大好きな春日山を守るためにどうしたらよいかを一人一人が真剣に考え、取組を進めています。



4回の「義の土一袋運動」、問題を解きながら歩いた「春日山ウォークラリー」、国語の学習と関連させて行った「春日山安全マップ作り」、愛宕谷、二の丸、三の丸、大手道、春日山の自然を満喫した「お楽しみ探検」。みんなで夢中になって活動し、春日山の魅力を体全体で感じ取りました。



活動を通して春日山の魅力をたっぷりと感じ取った子どもたち。春日山を守っていききたい気持ちが高まり、他にも方法がないか話し合いました。そして、発見した春日山の魅力をたくさんの方に伝えたいと考えました。ポスター、チラシ、新聞、マップ、本など自分で選んだ方法で取り組んでいます。